

放課後まほらboで「体験を深い学びに！」



はじめてのまほらbo

1～6年生
10名程度
(先着順)

12月26日(金)・1月5日(月)・6日(火)・7日(水)
午前(9:40～13:00) 合計4回開催予定!

公式LINEに
登録して
最新情報
をまて!

まほらboの授業の一部↓ 今回はどんな授業が体験できるかな?



「今日は〇〇の日」をきっかけに
「なぜ？」の深め方を体験します。

今日は何の日?



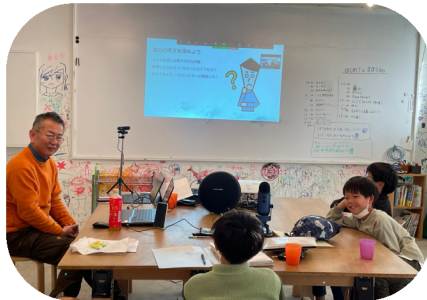
旬の食材や、なぜ「食」が大切かを考
えながら、自分で作ります。

調理



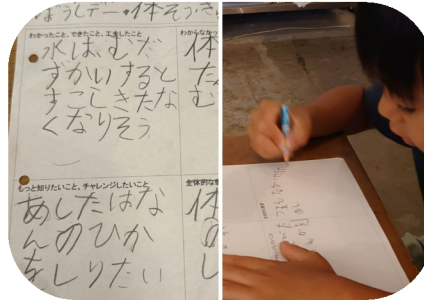
絵を描いたり、作品を作ったり、
音を奏でたり、自分を表現します。

手仕事(表現)



「なぜ？」を大切に自分や友達、自然
と対話をする時間です。

子ども哲学対話・探究



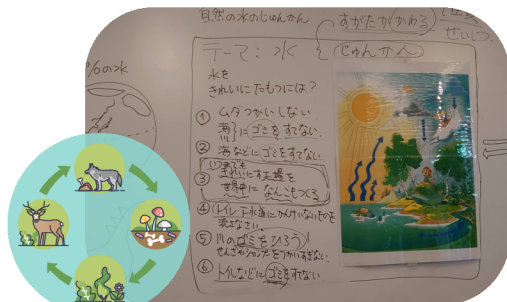
めあてを決め、最後の時間には今日学
習したことを言葉にします。

めあて・振り返り



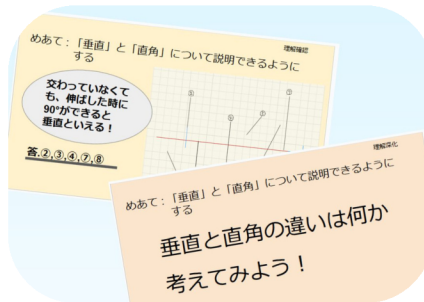
スクライブビデオ等、相手に伝わるプレ
ゼンの練習。

手仕事(デザイン)



持続可能な社会のために自然について
知り、自分ができていることを考えます。

自然体験活動



意味を理解すること、説明するこ
とに重点をおいた教科の学習です。

さんすう



言葉の構造を理解し、五感をフルに使
った英語の学習です。

えいご (Jolly Phonics)

まほらboの考え方

これからのウェルビーイングな世界とは自然と共生する持続可能な社会といえます。これを実現するために必要なのは、生態学を基礎にした科学的なアプローチと「主体的、対話的で深い学び」で変革・創造を起こす力です。そこで、新しい生き方のヒントを私たちに与えてくれるのが、エコロジー(生態系)とフィロソフィ(哲学)を掛け合わせた考え方、「エコソフィ」です。まほらboでは、「エコソフィ」の考え方を基礎におき、活動しています。

また、「主体的、対話的で深い学び」のために、身の回りにある「なぜ？」に気づくこと、そこからの探究を大切にすることで、放課後の生活・自然体験で楽しみながら「学ぶ力」を身につけます。最新の知見と大学の研究成果に基づく認知科学的指導で「深い学び」を目指しています。

新規生
受付中

まほらbo
mahoLab
学ぶチカラを身につける

まほらとは「理想郷」
「素晴らしいところ」
「住みやすい場所」
を意味する日本の古語です。

詳細・申込み・まほらbo
についてはHPから →



私たちは教育で
SDGsを推進します

一般社団法人東京学芸大Explayground推進機構の活動です